

# 棚田通信



NO18 2013.8

## 美しい石積み棚田の里だより

NPO法人 恵那市坂折棚田保存会

去る6月15日、平成25年度特定非営利活動法人恵那市坂折棚田保存会通常総会を開催しました。その概要は下記の通りです。会員の皆様、ご理解と協力をお願いします。

### 平成24年度事業報告

- \*第7回石積み塾 11月24日、25日 石積み技能士認定
- \*棚田オーナー制度 49組\*坂折棚田フォトコンテスト 応募総数216点\*棚田コンサート
- \*棚田体験学習(中野方小学校・恵那農業高校)\*さかおり棚田米販売(175袋)などの事業を展開した。

### 平成25年度 事業計画

#### 1. 事業実施方針

今年は、第9回全国棚田サミット(H15年)から10年目を迎えました。保全活動もようやく軌道に乗って参りました。本年の事業は、全国棚田サミット10年目を記念して、次のような活動を展開します。

- ①石積みの美しい坂折棚田の保全、②棚田周辺の自然豊かな里山の保全、③棚田オーナー制度、石積み塾等による都市住民との交流④、地域住民と都市住民、企業ボランティア等協働による、中山間地農業の継続及び景観保全、⑤中野方まちづくり委員会の連携による地域振興以上の事業を通じて、その成果を恵那市の中山間地域への波及に努める。

### 平成24年度決算報告

平成24年度 特定非営利活動法人 恵那市坂折棚田保存会 決算報告書

会計期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日 (単位:円)

収入の部

支出の部

項目	決算額
会費収入	162,000
事業収入	6,260,889
補助金等	5,340,704
その他収入	191,589
短期借入金	1,000,000
前年度繰越金	1,383,760
合計	13,338,948

項目		決算額
事業費	棚田景観保全事業	1,344,664
	都市農村交流事業	1,771,595
	棚田ブランド開発事業	2,404,761
	文化伝承事業	187,114
	その他事業	735,400
	計	6,443,534
管理費	運営費	3,000,179
	需用費	593,895
	活動費	2,863,617
	計	6,457,691
	次年度繰越金	437,717
合計	13,338,942	

## 平成25年度予算

平成25年度 特定非営利活動法人 恵那市坂折棚田保存会 予算書

会計期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日 (単位:円)

収入の部

項目	今年度予算
会費収入	220,000
事業収入	7,085,000
補助金等	1,530,000
その他収入	0
短期借入金	1,000,000
前年度繰越金	437,717
合計	9,272,717

支出の部

項目		今年度予算
事業費	棚田景観保全事業	430,000
	都市農村交流事業	2,500,000
	棚田ブランド開発事業	2,200,000
	文化伝承事業	120,000
	その他事業	400,000
	計	5,650,000
管理費	運営費	1,040,000
	需用費	560,000
	活動費	2,022,717
	計	3,622,717
	次年度繰越金	
合計		9,272,717

\*\*\*\*\*

## 田の神まつり

6月1日土曜日開催された 田の神祭り(灯火まつり)は、約600人の参加がありました。

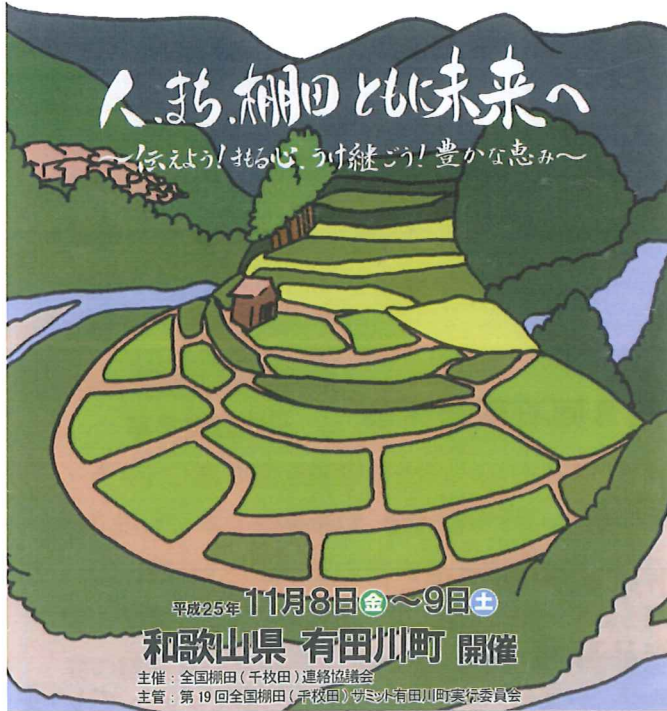


今回は各新聞社へ訪問し、PR活動に力を入れたおかげで昨年以上の観光客数でした。またキャンドル点灯には地元の子もたちの参加、めれた囃子の音色を聴き、あたりが薄暗くなってからは、提灯行列も行われました。

\*\*\*\*\*

第19回全国棚田(千枚田)サミット開催のお知らせ

第19回  
全国棚田(千枚田)サミット



第19回 全国棚田(千枚田)サミット  
人・技・棚田と未来へ  
～伝えよう! 持ち心、受け継ごう! 豊かな恵み～

前日	11月7日(木)	1日目 11月8日(金)	2日目 11月9日(土)	
時間	1700~1800	1030~1120 1120~1220 1220~1250 1300~1330 1330~1500 1500~1530 1530~1700 1730~1800 1800~2000	830~1130 1130~1300 1300~1345 1345~1415 1420~	830~1130 1130~1300 1300~1345 1345~1415 1420~
行事内容	全国棚田(千枚田)連絡協議会 理事会	全国棚田(千枚田)連絡協議会 総会 <移動> オープニングセレモニー 第19回全国棚田(千枚田)サミット開会式 基調講演 写真家 青柳健二氏 事例発表 1. あらぎ島等での取り組み 県立有田中央高校 2. 沼の棚田における取り組み 和歌山大学観光学部 <移動> 分科会 第1分科会 棚田と文化的景観保全のあり方、取り組み 海老澤 真 氏 第2分科会 稲田(棚田・段々畑:条件不利地帯における「土壌利用」の意義と保全 豊父 志乃夫 氏 第3分科会 棚田保全活動を契機とする地域活性化・地域づくり 福井 隆 氏 第4分科会 学生ボランティアと地域による棚田保全への取り組み 大浦 由美 氏 首長会議 <移動> 全体交流会	現地見学会 <移動・昼食・物販等> 分科会まとめ(報告) 第19回全国棚田(千枚田)サミット開会式 エンディングイベント「お餅まき」	現地見学会 <移動・昼食・物販等> 分科会まとめ(報告) 第19回全国棚田(千枚田)サミット開会式 エンディングイベント「お餅まき」
会場	清水文化センター	きびドーム 吉備中学校 体育館 和歌山県立有田中央高校 和歌山大学観光学部 和歌山県立有田中央高校 清水文化センター-ALEC (ほか4会場) 吉備中学校 体育館	あらぎ島 三田の棚田 沼の棚田	あらぎ島 三田の棚田 沼の棚田

開催趣旨

農家の高齢化や担い手不足など農業を取り巻く情勢は厳しさを増しており、地域の景観や水源涵養、洪水防止など先達が守り続けてきた棚田が有する多面的機能を将来にわたり、持続していく取り組みが必要となっています。

そうした中、全国各地でさまざまな棚田等保全活動に取り組んでいる方々の事例などご紹介いただき、意見交換や交流を回り、持続的な保全活動へのつながりを期待すると共に、地域一丸となって保全に取り組んでいく為、当町で「第19回全国棚田(千枚田)サミット」を開催いたします。

講師・分科会コーディネーターのご紹介

**基調講演: 講師**  
写真家 青柳健二氏  
山形県出身。日本の棚田百選 全134箇所をすべて旅し、撮影。写真ガイドブック「日本の棚田百選」写真集「アジアの棚田、日本の棚田」などの著者。  
近年は、岩手、宮城、福島3県の被災地での写真を集めた「復活への記憶」を写真集監修。

**首長会議: コーディネーター**  
千賀 裕太郎 氏  
北海道出身。東京農工大学 名誉教授。棚田学会会長、日本景観学会 副会長、文化審議会文化的景観委員長(文化庁)。

**第1分科会: コーディネーター**  
海老澤 真 氏  
東京都出身。早稲田大学文学部 教授。研究分野は、日本中世史、日本の在留史研究、東アジアの水田開発史、村落景観論など多角的に研究。

**第2分科会: コーディネーター**  
豊父 志乃夫 氏  
大塚府出身。和歌山大学システム工学部 教授。専門分野は、自然生態工学、環境社会学、造園学。「ヒートアップづくり実践地」「聖地聖山文化編」などの著者。

**第3分科会: コーディネーター**  
福井 隆 氏  
三重県出身。東京農工大学大学院 客員教授。専攻は、社会調査、社会学。全国各地で、地域社会の環境改善や地域活性化に携わっている。

**第4分科会: コーディネーター**  
大浦 由美 氏  
埼玉県出身。和歌山大学 観光学部 准教授。専門分野は、森林経済学、森林政策、都市・農村政策、和歌山大学観光学部学生ボランティア「棚田ふもむ」指揮者として活躍中。

現地見学会会場のご紹介



▲【沼の棚田】  
標高869mの堂嶋海山を背に230m~600m付近に棚田が拓けています。サミット現地見学会では、400~500m付近を散策していただきます。



▲【日本の棚田百選【あらぎ島】】  
江戸時代初期、当時の庄屋 笠松左太夫によって拓かれた水田。海曲した有田川の流れに沿って、扇状の棚田が対岸から眺望できます。



▲【三田の棚田】  
あらぎ島の対岸に広がる田園地域。棚田の原点と言える農村と水田の共存景観を形成しており、あらぎ島の眺望と共に現地を散策していただきます。

有田川町へのアクセス



沼の棚田における和歌山大学観光学部学生ボランティア「棚田ふもむ」活動の様子。  
(耕作放棄地を復旧し、田植え)



あらぎ島における地元の八幡小学校と有田中央高等学校生による田植え作業の様子。

●お問い合わせ●  
第19回全国棚田(千枚田)サミット  
有田川町実行委員会 事務局  
有田川町役場  
清水行政局 産業振興室 内  
〒643-0521  
和歌山県 有田郡 有田川町 清水 387-1  
TEL: 0737-52-2111(代)  
FAX: 0737-25-9005(直)  
HP: <http://www.town.aridaga.wv.lg.jp/>

## お知らせ

### ○第19回全国棚田千枚田サミット参加者募集（前頁参照）

募集人員：20名・費用は、概ね2万円位を予定しています。

8月20日（火）までに出席の報告して下さい。

申込は、ハガキ、Eメール、FAXでお願いします。

詳細は、参加希望者におってご連絡します。

### ○第9回全国棚田（千枚田）サミット開催10周年記念事業

10月26日（土）棚田シンポジウム、棚田コンサート実施します。

詳細は、後日お知らせします。

### ○11月23日（土）、24日（日）第8回石積塾開催

詳細は、決まり次第お知らせします。

### ○8月31日（土）フォトコンテスト応募〆切です。

#### 第8回坂折棚田フォトコンテスト作品募集

今年で8回目になります。棚田の風景とスナップ写真の二部になっています。特にスナップ写真の応募を期待しております。

お早目にお出し下さい。

### ○第2回案山子コンクールを実施しています。締切は8月31日です。

#### 編集後記

暦の上では秋を迎えましたが、暑い日が続いております。標高が高い、ここ坂折でも水銀柱の目盛りが30℃を超える日があります。流石に熱帯夜になることは、殆どありませんが、年々寝苦しい夜が増えてきたような気がします。それでも、萩の花が咲きはじめてきました。山を渡ってくる風に爽やかさを感じる事ができます。あと一月もすれば、稲も色づきはじめることでしょう。案山子たちの出番ももうすぐです。

NPO法人恵那市坂折棚田保存会 電話：0573-23-2032 \* FAX：0573-23-2046 \* 携帯：080-1553-0315

E-mail: sakaori-tanada@ial.itkeeper.ne.jp ホームページ：坂折棚田

検索 